

出版社が考える「電子書籍」の今後

株式会社PHP研究所

PHP

事業開発本部

中村 由紀人

■ PHP 研究所について



株式会社PHP研究所

事業開発本部

— デジタル事業推進部(電子書籍)

— ネット推進部(Web)

— ライツ推進部(権利ビジネス)

- 2000年から電子書籍に着手
- 毎月 約40点の電子書籍を発行
- 電子書籍保有数 1000点以上

■日本の出版業界の素顔

「中小零細」が出版社の王道

■日本の出版社の規模

- ー日本の出版社 約4,000社(3,000社が東京に集中)
- ー社員数1,000人以上の出版社は約40社
- ー社員数が10人以下の出版社は半数以上

■1人でも出版社がやって行ける理由

【その1】書籍だけ作れば売ってくれる「取次店」

- ① 商的流通機能
- ② 物流機能
- ③ 金融機能
- ④ 情報流通機能
- ⑤ コンサルタント機能

【その2】10年経っても日本全国どこで買っても定価は同じ 「再販制度」

■電子書籍とはどういったものか-1

■「電子書籍」とは、紙ではなく電子記録として保存された書籍

● **e b o o k** ◎紙の本が液晶画面に再現

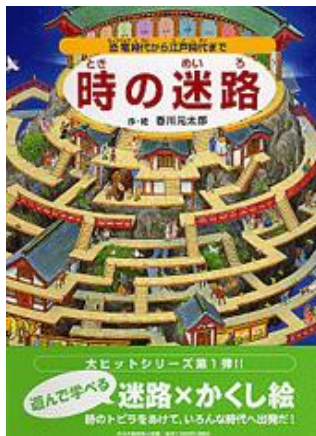
● **アプリ型** ◎ゲームのように動画、音声で表現

■「フォーマット」とは、電子書籍を記述する規格（ルールに従ってデータ化する）

● **ドットブック**（ボイジャー）、● **X M D F**（シャープ）、● **P D F**、● **e P u b** など

■ シリーズ累計150万部 『時の迷路』がi P a dで遊べる！

絵 本



ア プ リ



■電子書籍とはどういったものか-2

■ 「デバイス」 (電子書籍端末) 電子書籍を読むための製品

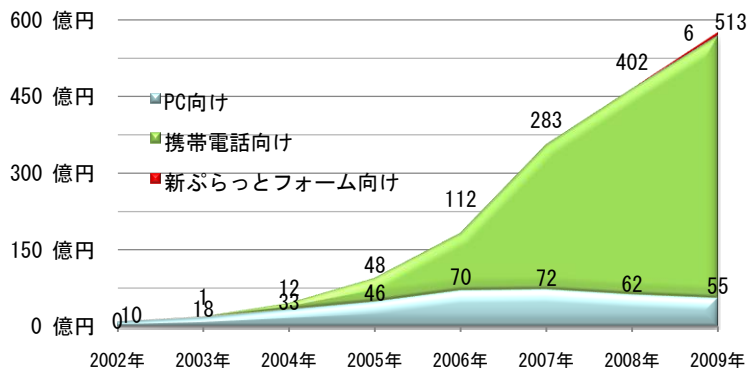
◎端末メーカーが電子書籍市場をコントロールする

- 専用端末 : ●キンドル (アマゾン)、 ●リーダー (ソニ)
- 汎用端末 : ●アイパッド (アップル)、 ●ガラパゴス (シ)
- スマートフォン : ●iPhone (アップル)、 ●Galaxy (サムスン)

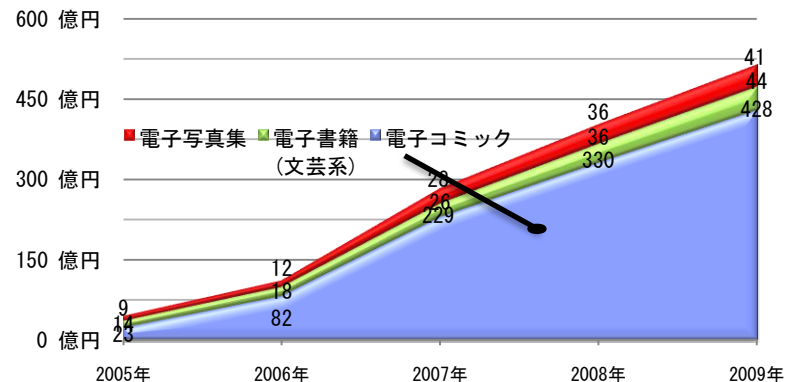


■日本の電子書籍市場

日本における電子書籍市場規模の推移



携帯電話の電子書籍売上げの種類別内訳



■電子書籍とはどういったものか-3

■電子書籍のベストセラー



『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』岩崎夏海 著
(ダイヤモンド社)

紙で250万部超、電子版で10万ダウンロード



『伝える力』池上彰 著
(PHP新書)

紙で100万部超、電子版で6万ダウンロード

■インターネット書店アマゾンの台頭 (約1兆円の売上げ)

◎紙と電子書籍を並売するハイブリッド書店を目指す

■作家が電子書籍を販売

◎作家が出版社“中抜き”で電子書籍をネット直販(村上龍、京極夏彦、瀬名秀明、桜坂洋)

■日本の電子書籍市場をつくる大手出版社

日本の電子書籍市場

総売上 **600億円** (9割が漫画)

- －出版社1%が参加し、テキストものは3万作品
- －文芸ジャンルが中心

日本の電子書籍の歴史

- －日本初の電子書店
1995年に富士通の社外ベンチャーとして設立された**株式会社パピレス**
- －出版業界初の電子書店
1997年に設立された大手出版社光文社が運営する**光文社電子書店**
- －電子書籍プラットフォーム
2000年に発足した大手出版社8社が参加する**電子文庫パブリ**

■ 電子書籍販売までの流れ

再販流通ルート



著者



出版社



取次店



書店



読者

電子書籍流通ルート



著者



出版社



電子書店



読者

■最後にお勉強のタイム！

■著作権者は誰か？《練習問題》



アジサイ寺を
訪ねて

山根太郎 著

取材／文 安田はるみ

私にとってアジサイの花は
母の匂いととも思い出さ
れる。

.....
..
.....



イラスト 山田花子
写真 鈴木一郎

執筆者 (山根太郎)
ライター (安田はるみ)
イラスト (山田花子)
写真 (鈴木一郎)
編集発行 (PHP研究所)

【キーワード】どのような契約か？

執筆者(著作権者)

~~ライター(著作権者)~~

(1) 役務の提供契約

(2) 著作権譲渡

著作者人格権の不行使

イラストレーター(著作権者)

写真者(著作権者)

~~編集発行(著作権者)~~

■電子書籍の今後

■「電子書籍元年」は、去年ではなく今年であった

○アマゾンとグーグルが日本の電子書籍市場に年末に参入

■電子書籍が増えないのは、「著作権問題」ではなく、「コスト高」であった

○XMD Fフォーマットの電子書籍を外注で作成すれば、1作品70,000円
○PDFフォーマットが普及することで電子書籍市場が活性化

■電子図書館の可能性

- 資料室や学習室からコミュニティセンターへ
- 図書館からハイブリッド図書館へ
- 地域密着のコミュニティセンターへ
- 同人誌、学校の卒業文集、郷土史家、社史など地域ならではの情報の充実
- 地元出身作家、縁（ゆかり）の地作家
- 地域施設連携（病院、老人ホーム、公務員宿舎、関連施設）